

複合機再生事業の拡大 環境性能と高品質と低価格への取り組み

キヤノン株式会社
2026年8月28日

1. キヤノングループの紹介
2. キヤノンの資源循環への取り組み
3. 複合機のリマニュファクチャリング
～高いリユース率と品質の両立活動の取り組み

1. キャノングループの紹介

会社概要と事業分野の紹介

1. 会社概要

キヤノン株式会社 (Canon Inc.)

設立 1937年8月10日

資本金 1,747億6,200万円
(2025年12月31日時点)

従業員数 【連結】16万5,547名
(2025年12月31日時点) (国内 6万9,627名 海外 9万5,920名)

売上高 【連結】4兆6,247億円
(2025年12月31日時点)



■ 事業内容

精密機器・電気機器の研究・開発・生産・販売・サービス

■ 事業分野

(2025年実績)

プリンティング ビジネスユニット



53.9%



- デジタル連帳プリンター、デジタルカットシートプリンター
- オフィス向け複合機
- レーザー複合機、レーザープリンター
- インクジェットプリンター、イメージスキャナー ほか

メディカル ビジネスユニット



12.6%



- CT装置
- 超音波診断装置
- X線診断装置
- MRI装置
- 体外診断システム及び試薬 ほか

イメージング ビジネスユニット



22.8%



- レンズ交換式デジタルカメラ
- 交換レンズ
- MRシステム
- ネットワークカメラ
- デジタルビデオカメラ ほか

インダストリアル ビジネスユニット



7.8%



- 半導体露光装置
- FPD露光装置
- 有機ELディスプレイ製造装置
- 真空薄膜形成装置
- ダイボンダー ほか

2. キヤノンの資源循環への取り組み

高度な資源循環の実現による 資源循環型社会への貢献

～ 回収品処理から サーキュラーエコノミー事業への**転換** ～



リマニュファچーリング事業

再生商品 【本体系】



本体REM

RC

リペア

リマニュファچーリング事業

補給商品 【消耗品】【部品系】



サービスユニット

リフィル

再生部品を活用したサービスユニット

リサイクル事業

再生材



(トナー-CRG)(インクCRGから)(MFPカバーから)

クローズドリサイクル材

オープンリサイクル材



顧客



本体

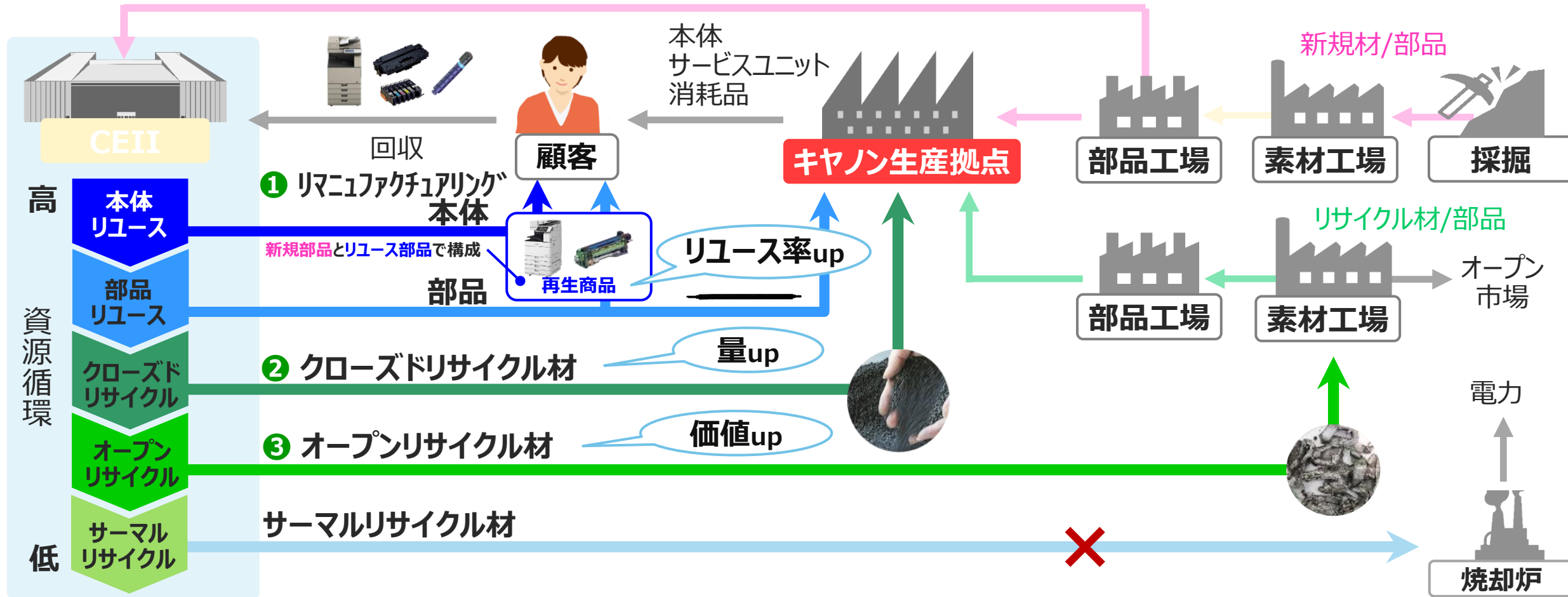
消耗品
(トナー/インク)

部品
(パーツ)

回収

プリンティング事業の資源循環の目指す方向

7

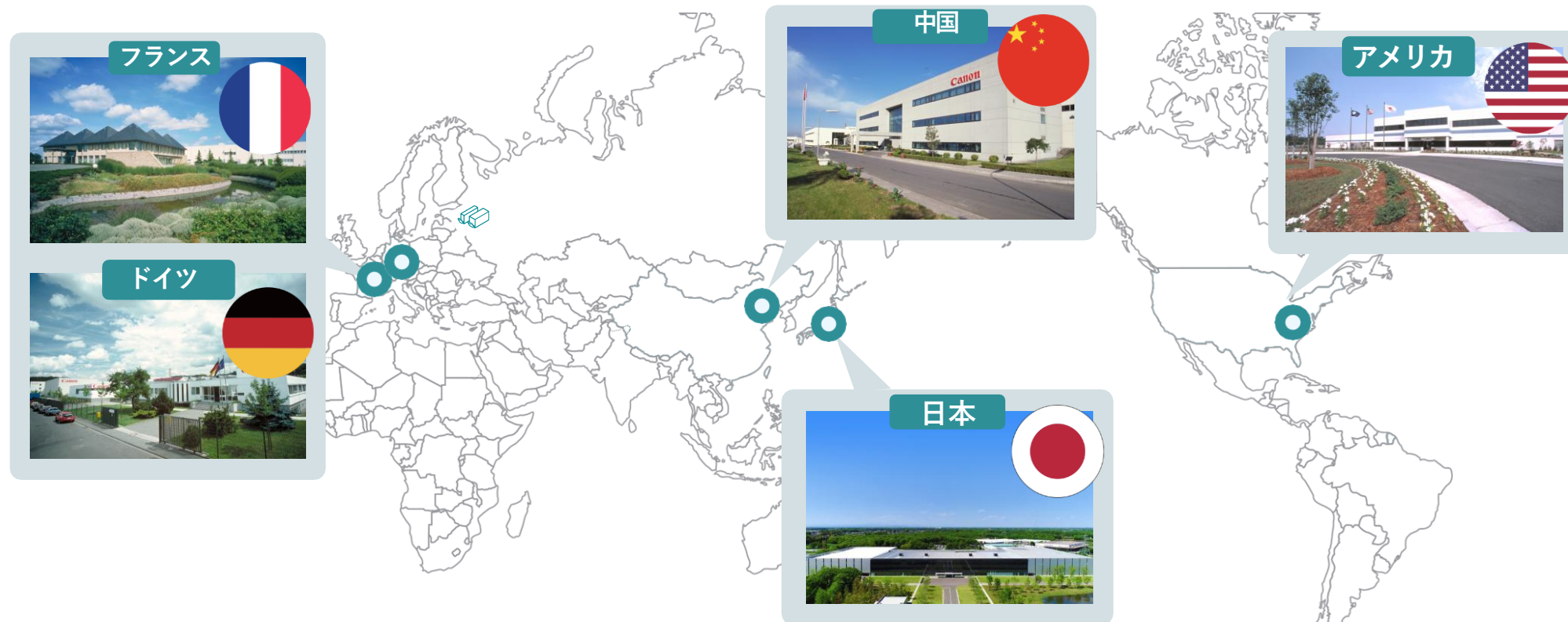


《目指す方向》

- ① リマニュファチャリング 商品：リユース率向上により原価低減
- ② クローズドリサイクル材：種類・生産量の増加を推進
- ③ 分別純度向上により高付加価値化推進

キヤノンの再生拠点

8



◆複合機リマニュファクチャリング



◆トナーカートリッジ自動リサイクル



◆インクカートリッジ自動リサイクル



3.複合機のリマニュファクチャリング ～高いリユース率と品質の両立活動の取組み

■ オフィス向け複合機



■ SOHO向けレーザープリンターおよび複合機



■ インクジェットプリンター



■ プロダクションプリンター



■ 大判プリンター



オフィス向け再生複合機 商品紹介

11

オフィス向け複合機

弊社ホームページ “商品紹介”



imageFORCE
次のステップへ、ビジネスを導く力。
Special Site

NI Collabo 360と
キヤノンの複合機ではじめる
法令対応と業務DX

MEAP クラウドスキャン
for NI Collabo

imageFORCE 共通特長

商品一覧



→ カラー複合機

→ モノクロ複合機

→ Refreshedシリーズ（再生モデル）

→ 拡張オプション

新製品 Refreshedシリーズ（再生複合機）
としてカラー機3モデルを販売しております



Canon REFRESHED

RG モデル
リユース率を高めた環境特化型モデル

部品リユース率
94.0%

部品リユース率
95.0%
C3830F-RG
C3826F-RG

ImageRUNNER
ADVANCE
C5550F-RG

ImageRUNNER
ADVANCE DX
C3830F-RG/C3826F-RG

リユース率は業界最高水準

 我々のビジネスモデルは、リマニュファクチャリングの拡大に適しています。

リマニュファクチャリングに適している理由

クリックビジネス-保守契約型 → 販売後も商品・お客様と強く結び付いています

① ほぼ全量が回収される

保守契約による市場商品の把握・紐づきに加え、
全国に自社回収センターがあり、業界の回収機交換センターも整備されている

② 消耗部品の交換で長期使用が可能

消耗部分の交換により長期使用を前提とした商品設計である：前提条件

③ 稼働時状態のモニタリングが可能

稼働状態、部品交換履歴等がモニタリングでき、部品交換箇所が特定できる



再生型オフィス複合機
「Refreshedシリーズ」
imageRUNNER ADVANCE
C3530F-RG

高いリユース率と品質の両立活動の取組み

👉 再生複合機はまず回収から

オフィス複合機の静脈物流

全国9カ所の回収センターをハブとし、使用済複合機のほぼ全量を再生拠点へ送る 静脈物流 を整備

- 弊社回収センター ● 交換センター
- 再生拠点



滋賀事業所・滋賀県



本社・茨城県

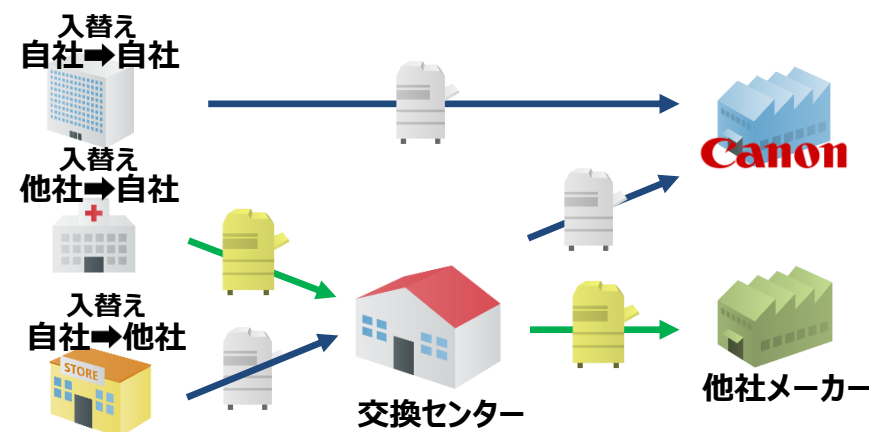
- 再生拠点：キヤノンエコロジーインダストリー(株)

静脈物流

消費者から生産者への物流

- 交換センター **必ず自社に回収される仕組み**

入替時に下取りした他社機を製造メーカーに戻す仕組み
ビジネス機械・情報システム産業協会(JBMIA)により
業界共同で設置。



高いリユース率と品質の両立活動の取組み

取組みのポイントは3つ

高いリユース率

品質保証

①稼働データ活用

②プラットフォームものづくり体制

③再生技術



①稼働データの活用～仕組み～

回収機の状態を見極める 🔍

→使用状況やメンテナンスの履歴に関する市場稼働時のデータを活用
大量の**回収機の状態**と**再生時の作業**を**正確・迅速**に判断



※市場における自社製品の稼働データが集約されたデータベース

■回収機の状態

「再生工程に回すか・部品取りに回すか・破碎するか」
を自動判定

品質判断 用途選別

■再生時の作業

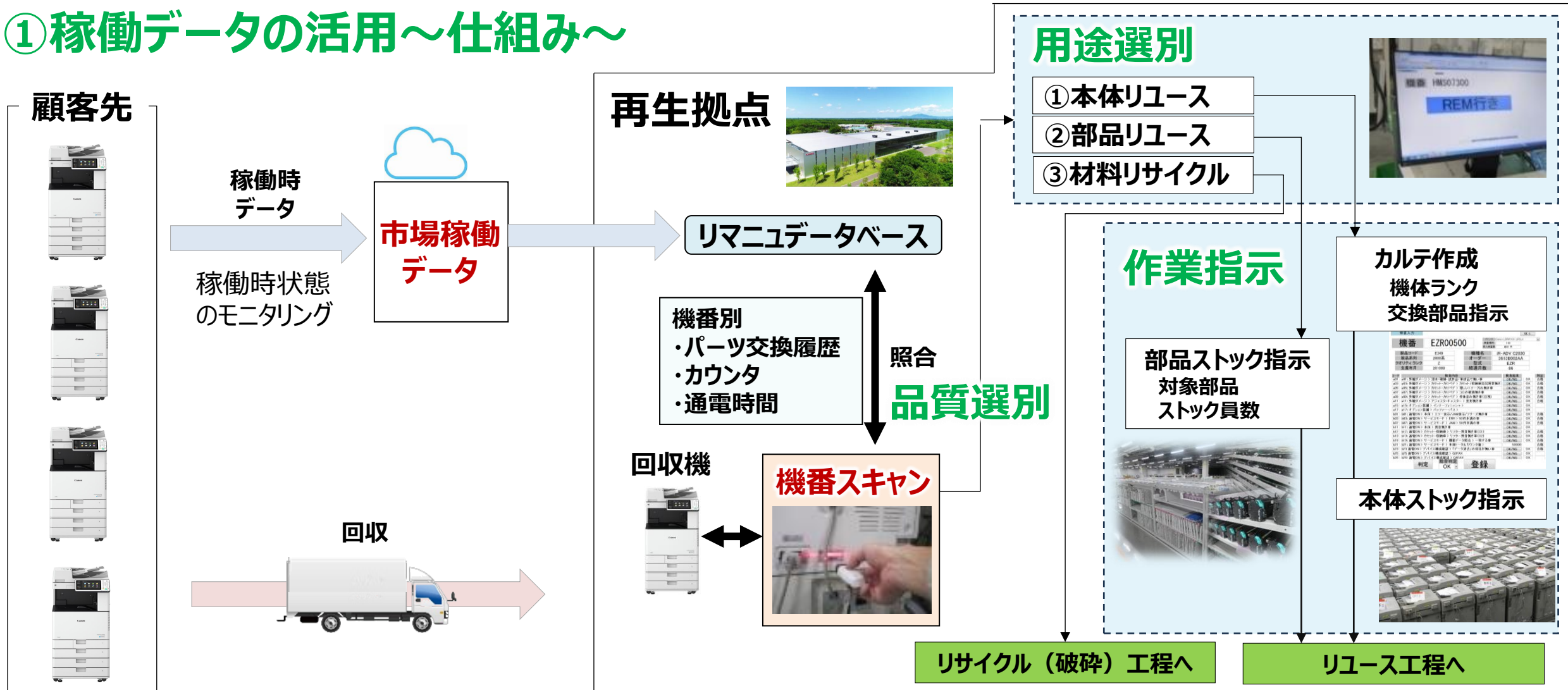
再生時に交換を必要とされる部品リストを
“リマニユカルデ”として作成
“リマニユカルデ”にもとづいた作業の実施

作業指示

高いリユース率と品質の両立活動の取組み

16

①稼働データの活用～仕組み～



市場稼働データに基づいて機体の状態を自動で判断

①用途選別と②作業指示を実施（カルテ作成&ストック指示）

高いリユース率と品質の両立活動の取組み

②プラットフォームものづくり体制 ～仕込み～

異なる製品間で共通化（部品/工程+再生のし易さ）

プラットフォームの考え方

商品をクラスに分類し、

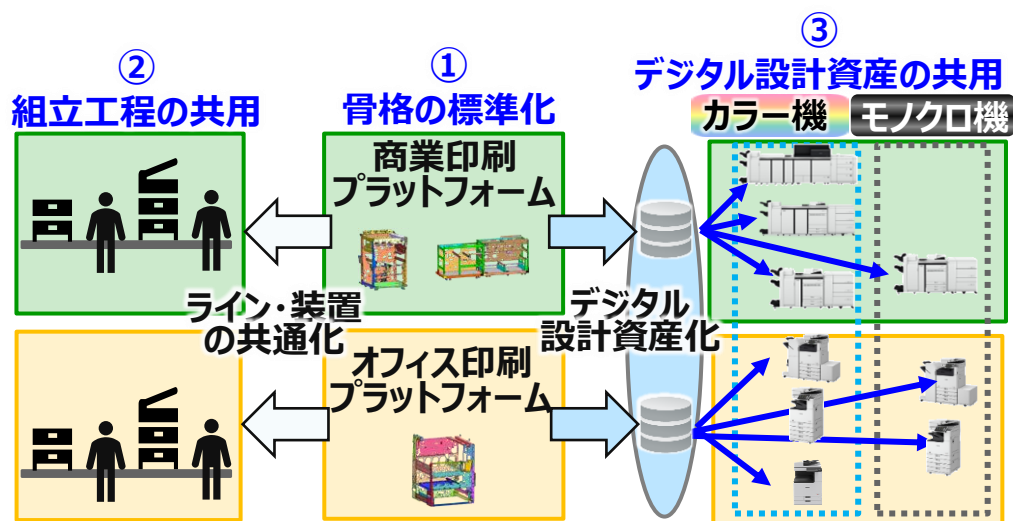
- ①クラスごとに**骨格を標準化**
- ②各プラットフォームで**組立工程を共用**
- ③各プラットフォームで**デジタル設計資産を共用**

完全品質

原価低減

開発スピードアップ

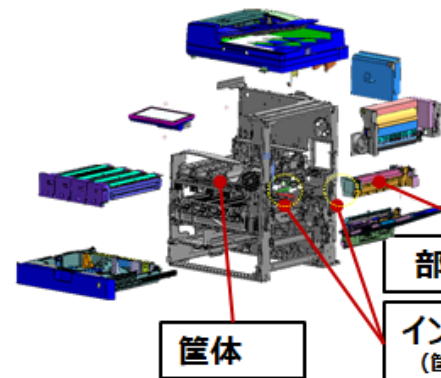
バリエーション拡大



プラットフォーム設計とは

異なる製品間における

- ・部品・ユニットの共通化
- ・インターフェースの共通化
- ・分解・組み立て工程の共通化



再生のし易さの共通化

高いリユース率と品質の両立活動の取組み

19

②プラットフォームものづくり体制 ～仕込み～

将来のリマニュを見据えた再生し易さ設計

- ・リユース率up (部品コスト)
- ・再生工数低減 (作業コスト)

原価低減

リマニュ特有の工程

回収

分解

清掃

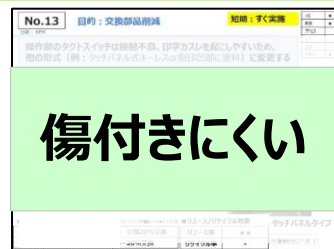
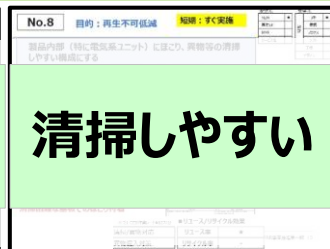
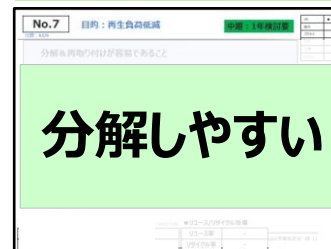
組立

検査

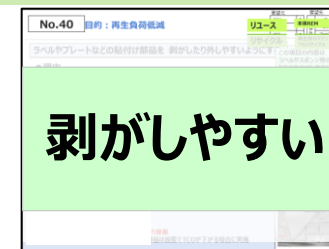
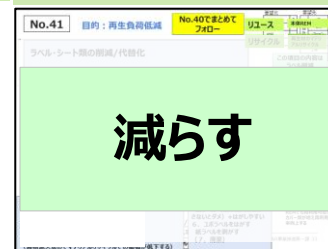
梱包

再生のし易さ設計の観点

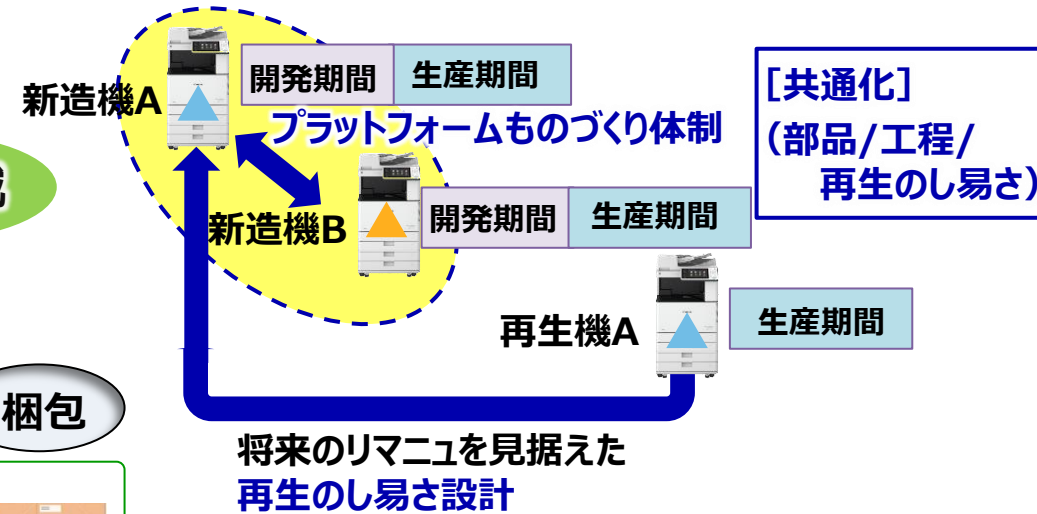
部品・ユニット



貼付けラベル類



時系列



③再生技術（清掃/修復）～仕立て～

次ページでご紹介

リサイクル事業

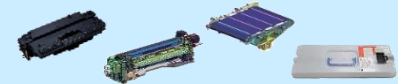


リサイクル材

リマニュ事業



再生複合機



再生ユニット

再生技術マップ



ピッキング



画像解析

仕分・解析・選別技術



市場データ
活用



回収機
管理

再生部品保証



精度保証



破碎



自動分解

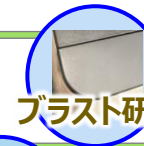
分解技術

修復技術



トナー抜き

清掃・洗浄技術



ブラスト研磨



自動清掃



イオン水洗浄



トナー抜き

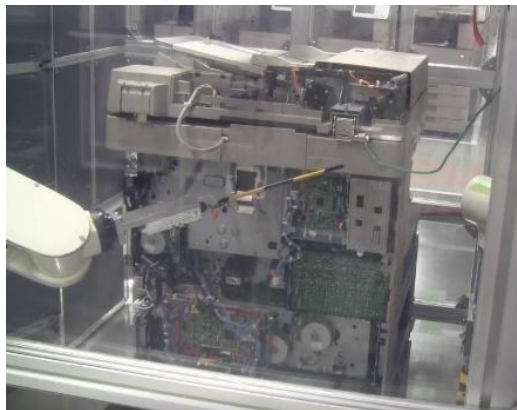
③再生技術（清掃/修復）～仕立て～

■ブラスト研磨



キズ付いた光沢感のある外装部品を**サンドブラスト研磨**によりマットな質感に変え再利用

■自動清掃



エア自動清掃装置 により人手で清掃ができない部位のノズルエアー清掃を導入

➡リマニュの工程においては手動作業が主流であり自動化は今後の課題

オフィス向け再生複合機 全体規模

22

再生機の部品リユース率 imageRUNNER ADVANCE C3530F-RG キヤノンエコテックパークショールーム展示



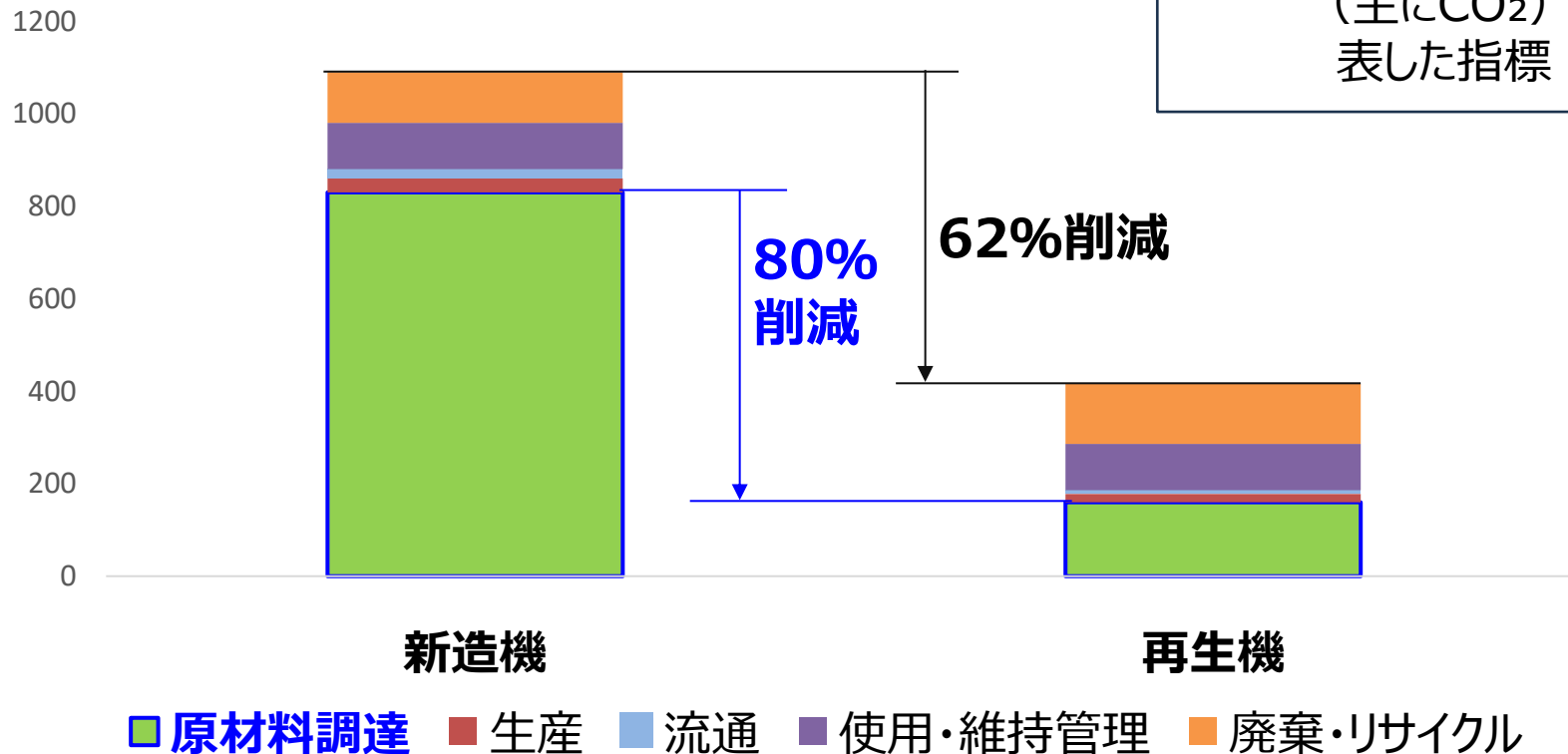
再生機 C3530F-RGのリユース率は95.5%（業界最高水準）

※4.5%は材料リサイクル&サーマルリサイクル

1機種あたりのCFP

SuMPO（一般社団法人サステナブル経営推進機構）CFP公開値

（単位：kg-CO₂eq）



CO₂排出量 再生機は新造機に対して62%削減
「原材料調達」の削減効果が特に大きい（80%削減）

・キヤノンの再生複合機は、高いリユース率と品質の両立活動により、環境性能と高品質と低価格を実現しています。

・高いリユース率と品質の両立活動の取組みのポイントは3つ

①稼働データ活用

②プラットフォームものづくり体制

③再生技術



高いリユース率

品質保証

両立

環境性能

高品質

低価格

を実現

今後も環境性能、高品質、低価格を追求し、複合機再生事業のさらなる発展に取り組んでまいります。



ご清聴ありがとうございました